

ロボテック戦略月次レター（2021年5月の振り返り）

日本の自動化銘柄が好調

ロボット受注など日本の産業活動の先行指標、世界経済回復の恩恵を受けて堅調に推移

5月の世界株式市場（MSCI ACWI、米ドルベース）は上昇しました。月初から一部でグロース銘柄からバリュー銘柄へのローテーションが継続し、様々な長期成長テーマに注目しているロボテック戦略にとって、過去数カ月間と同様にパフォーマンスの抑制要因となりましたが、月末にかけては落ち着いた展開となりました。



ファナックや安川電機などの自動化関連銘柄は、自動車関連の設備投資改善の恩恵を享受しています。

なお、新型コロナウイルスワクチンの世界的な普及が続い

ており、米国では急速に経済活動の正常化が進み、欧州経済も改善しつつあります。世界経済の回復とそれに伴う個人消費の拡大について良好な兆候を見出しており、これは購買担当者景気指数（PMI）などの指標で明らかです。

経済活動の正常化進み、自動化機器需要は世界的に拡大へ

上記を背景に、日本の産業活動の先行指標である工作機械受注や産業用ロボット受注などは、足元では非常に好調です。コロナ禍発生前の数年間に起こった米中貿易摩擦により先送りされていた需要が、コロナ禍での需要先送りと相まって、今回の需要回復を押し上げています。2020年下半期に中国で見られ

た堅調な自動化機器需要は、米国での需要増とともに世界的な拡大傾向を見せており、欧州市場も回復し始めています。世界的な設備投資の増加は、さまざまな自動化機器メーカーへの恩恵となっています。ロボテック戦略においては、ファナックや安川電機などの日本の自動化関連銘柄の一部のパフォーマンスが良好でした。これには、自動車市場における設備投資改善の恩恵を享受していることに加えて、倉庫の自動化などロボット関連分野での構造的な成長が続いていることなどが背景にあります。

労働力不足や賃金上昇はロボット関連需要増への追い風に

なお、経済の正常化が続く中、市場ではインフレ見通しに注目が集まっています。予想よりも早い米国の金利上昇が懸念され、市場が乱高下する局面がありました。しかし、米連邦準備制度理事会 (FRB) は引き続き現在のインフレ率上昇は一時的な傾向と見ており、金融緩和策を継続する姿勢を示しています。当社は今後数年間は大きな賃金上昇を予測しているわけではありませんが、労働力不足や賃金上昇によって、当戦略が注視している自動化機器の需要が増加する可能性に注目しています。

5月末にバイデン政権が6兆ドル（約660兆円）を上回る予算教書を発表し、国内製造業の振興も柱の一つです。米議会における予算審議には不透明要素はありますが、大規模予算は米国企業の設備投資を加速させ、工場などの拡張につながります。労働力不足は当面続くため、バイデン政権の施策はロボット需要にはポジティブです。

堅調な半導体需要継続へ

半導体市場については、今のところ部品不足に関する不透明感が残っています。当社では、半導体不足は続くものの、その影響は過大なものにはならないと見ています。当社は半導体セクターについて長期的な見方をしており、今後数四半期間に需給バランスが改善し、自動車販売の改善や家電市場の好転により堅調な半導体需要が継続すると見ています。

なお、半導体不足関連の混乱にもかかわらず、5月には、産業・自動車の最終市場に向け半導体メーカーであるマイクロチップや、人工知能 (AI) 向け主要半導体メーカーであるエヌビディアが、良好な決算を発表しました。

半導体不足と半導体セクターの成長見通しの詳細については、ロボテック戦略ポートフォリオ・マネージャーのトム・ライリーが執筆した記事（[「世界的な半導体不足にもかかわらず、半導体セクターの成長継続を予想する理由」](#)）をご覧ください。

関連リンク

[ヘルスケアセクターが堅調: 新型コロナワクチン普及による経済再開に伴い、手術支援ロボットの需要拡大へ](#)

[半導体不足の影響は?: 影響は一時的、半導体企業やロボット関連業界には中期的に恩恵に](#)

[アクサIMのロボテック戦略について](#)

[フラムリントン株式: 注目のテーマ株式](#)

[ポートフォリオ・マネージャーが語るロボテック戦略への新型コロナウイルスの影響](#)

ディスクレマー

アクサIMについて

アクサ・インベストメント・マネージャーズ（アクサIM）は責任ある資産運用会社であり、長期的なアクティブ運用を行うことで、お客様、従業員、そして世界の繁栄を支援しています。当社の確信度の高い運用アプローチにより、代替資産クラスおよび伝統的資産クラス全般で最も良好な投資機会と考えられるものを追求しています。2021年3月末時点で約8,690億ユーロの運用資産残高を有しています。

アクサIMは、グリーン、社会、サステナブル市場における先進的な投資家であり、2020年12月時点で5,550億ユーロにおよぶESG（環境、社会、ガバナンス）統合済みのサステナブルおよびインパクト資産を運用しています。当社は、2050年までに、全運用資産における温室効果ガス排出のネットゼロ達成をコミットしており、株式銘柄選択から企業行動や文化に至る当社の事業にESG原則が組み込まれています。当社の目標は、社会と環境に有意義な変化をもたらしつつ、お客様に真に価値のある責任投資ソリューションをご提供することです。

アクサIMは20カ国27拠点において2,440名余の従業員を擁し、グローバルな事業を展開しています。アクサIMは、世界最大級の保険および資産運用グループであるアクサ・グループの一員です。

投資リスク及び費用について

当社が提供する戦略は、主に有価証券への投資を行いますが、当該有価証券の価格の下落により、投資元本を割り込む恐れがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動によっては投資元本を割り込む恐れがあります。したがって、お客様の投資元本は保証されているものではなく、運用の結果生じた利益及び損失はすべてお客様に帰属します。

また、当社の投資運用業務に係る報酬額およびその他費用は、お客様の運用資産の額や運用戦略（方針）等によって異なりますので、その合計額を表示することはできません。また、運用資産において行う有価証券等の取引に伴う売買手数料等はお客様の負担となります。

【ご留意事項】

当資料は、アクサ・インベストメント・マネージャーズの情報提供に基づき、アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社が翻訳・作成した資料です。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券その他の投資商品についての投資の勧誘や売買の推奨を目的としたものではありません。

当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成しておりますが、正確性、完全性を保証するものではありません。当資料の内容は、作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に記載された運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の情報であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

当資料を事前の了承なく複製または配布等を行わないようにお願いします。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

金融商品取引業者 登録番号: 関東財務局長（金商）第16号

加入協会: 一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、日本証券業協会

Ref-21325